



安全データシート

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: 石原ガゼット粒剤 (カルボスルファン粒剤)
- 1.2 用途: 殺虫剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152
- 1.5 作成日: 2007年11月8日
改訂日: 2023年4月17日⑧

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
	区分2(肺)
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)

区分1

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1

オゾン層有害性

分類できない

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示
絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H302 飲み込むと有害
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H371 呼吸器の障害のおそれ
H372 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害
H373 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器系または肺の障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264 取扱い後は手・顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P260 粉じん／蒸気を吸入しないこと。

【応急措置】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。
応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。
P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。

P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P321 特別な処置が必要である。(このラベルの「4. 応急措置」を参照)
P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
P391 漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】

P405 施錠して保管すること。
廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。
P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:



安全データシート

一般名	カルボスルファン	鉱物質粒等			
		結晶質シリカ	酸化アルミ	酸化カルシウム	その他
化学名	2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル-N-ジブチルアミノチオ-N-メチルカルバメート				
含有率	3.0%	82%	3.7%	1.2%	10.1%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法により規制される物質	(1)-584	(1)-23	(1)-189	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(4)-941	公表	公表	公表	全成分登録保証
CAS No.	55285-14-8	14464-46-1	1344-28-1	1305-78-8	非公開

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察/手当を受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	水でよく口の中を洗浄すること。患者に意識がない場合、口から何も与えてはならないし、吐かせてもならない。気分が悪い時は医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合	医師に連絡すること。

4.2 最も重要な兆候及び症状:

データなし。

4.3 医師に対する特別な注意事項:

カルボスルファンによる中毒の治療法としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。

5 火災時の措置

5.1 適切な消火剤:	粉末・炭酸ガス・泡消火器
5.2 使ってはならない消火剤:	情報なし
5.3 特有の危険有害性:	情報なし
5.4 特有の消火方法:	小さな火災の場合は、粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行うこと。 大規模火災の場合は、泡消火剤を用いて空気を遮断すること。 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない、有害ガスの吸入を避けること。
5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置:	消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。

6 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
----------------------------	--



安全データシート

6.2	環境に対する注意事項:	作業に際しては適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
6.3	封じ込め及び浄化の方法及び機材:	大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。 危険でなければ漏れを止める。
6.4	二次災害の防止措置:	可燃物(木・紙・油等)は漏洩物から隔離する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

7.1	取扱い:	医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従って取り扱うこと。
	技術的対策:	空気中の濃度をばく露限界以下に保つために、排気用の換気を行うこと。
	安全取扱い注意事項:	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 粉じん/蒸気を吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 接触・吸入または飲み込まないこと。 かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。 ラベルをよく読む。ラベルの記載内容以外に使用しないこと。 農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切ること。 使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理すること。 有効期限内に使用すること。 使用済み容器は他の用途には絶対に使用しないこと。 街路・公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
	接触回避:	情報なし
	衛生対策:	取扱い後、手・顔等をよく洗うがいをすること。 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
7.2	保管:	医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従って保管すること。
	安全な保管条件:	保管場所は壁・柱・床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。
	安全な容器包装材料:	情報なし

8 ばく露防止及び保護措置

8.1	許容濃度等:	
	管理濃度:	吸入粉塵 3.0/(1.19Q+1) mg/m ³ (Q=粉塵中遊離珪酸(%))
	日本産業衛生学会(2015年版):	吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m ³
	ACGIH(2015年版):	結晶質シリカ 0.025 mg/m ³
8.2	設備対策:	この物質を貯蔵ないし取扱う場所には洗眼器と安全シャワーを設置する。 管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

8.3 保護具:

呼吸用保護具:	防塵マスク・エアーライン・空気呼吸器
手の保護具:	ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具:	ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:	ボム長靴・保護衣

9 物理的及び化学的性質

9.1 物理状態:	細粒
9.2 色:	青色
9.3 臭い:	僅かに特異な臭い
9.4 融点/凝固点:	データなし
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6 可燃性:	データなし
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8 引火点:	引火せず
9.9 自然発火点:	データなし
9.10 分解温度:	データなし
9.11 pH:	8.8
9.12 動粘性率:	データなし
9.13 溶解度:	データなし
9.14 n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15 蒸気圧:	データなし
9.16 密度及び/又は相対密度:	1.56 g/cm ³ (見掛け比重)
9.17 相対ガス密度:	データなし
9.18 粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1 反応性:	データなし
10.2 化学的安定性:	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
10.3 危険有害反応可能性:	データなし
10.4 避けるべき条件:	データなし
10.5 混触危険物質:	データなし
10.6 危険有害な分解生成物:	データなし

11 有害性情報

11.1 急性毒性:	経口 LD ₅₀ 771 mg/kg (ラット♀)、4349 mg/kg (ラット♂) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット♂、♀) 吸入 区分に該当しない(分類対象外)(気体) 区分に該当しない(分類対象外)(蒸気) 分類できない(粉じん、ミスト)
11.2 皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし(ウサギ)
11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	わずかに刺激性あり(ウサギ)
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 皮膚感作性なし(モルモット)、カルボスルファンは皮膚感作性あり
11.5 生殖細胞変異原性:	区分2の結晶質シリカを82%含むことから区分2とした。
11.6 発がん性:	区分1Aの結晶質シリカを82%含むことから区分1Aとした。
11.7 生殖毒性:	情報なし
11.8 特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(呼吸器系)の酸化カルシウムを1%以上含むため、区分2(呼吸器系)に該当するとした。



安全データシート

- 11.9 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(呼吸器系)の結晶質シリカを 10%以上含むため、区分 1(呼吸器系)に該当するとした。
区分 1(肺)の酸化アルミニウム及び区分 1(呼吸器系)の酸化カルシウムをそれぞれ 1%以上 10%未満含むため、区分 2(呼吸器系, 肺)に該当。
- 11.10 誤えん有害性: データなし

12 環境影響情報

- 12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)
- | | | |
|--------|-------------------|---------------------|
| コイ | LC ₅₀ | 705 mg/L(96 時間) |
| オオミジンコ | EC ₅₀ | 0.00927 mg/L(48 時間) |
| 藻類 | ErC ₅₀ | >1000 mg/L(72 時間) |
- 水生環境有害性 長期(慢性)
急性有害性が区分 1 に分類されることから区分 1 とした。
- 12.2 残留性・分解性: データなし
- 12.3 生体蓄積性: データなし
- 12.4 土壤中の移動性: データなし
- 12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
使用残農薬及び付着農薬を除去した空容器を廃棄する場合は、次のいずれかの方法で適切に処理すること。
- ・ 農家等使用残農薬及び空容器の排出業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
 - ・ 市町村が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。
 - ・ 使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。
- 13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(SO_x、NO_x等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
- 13.2 容器の廃棄: 洗浄水等の排出は、環境に影響を与えないよう適切に処理してから排出すること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処理すること。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 3077
品名: Environmentally hazardous substance, solid n.o.s. (カルボスルファン)
国連分類: 9
容器等級: III
- 14.2 海洋汚染物質: 該当
- 14.3 MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質: 該当しない
- 14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従う。
輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等がないことを確認する。
転倒・落下・破損等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- 14.5 国内規制がある場合の規制情報: 陸上規制情報: 毒物及び劇物取締法の規制に従う
航空規制情報: 航空法の規制に従う
海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う
- 14.6 応急措置指針番号: 171



安全データシート

15 適用法令

農薬取締法:	農薬登録番号 第21046号
毒物及び劇物取締法:	劇物(政令第2条第46の3号、カルボスルファンを含有する製剤)
消防法:	該当しない
労働安全衛生法:	第57条(表示対象物質) 結晶質シリカ(第165の2号) 酸化アルミニウム(第189号) 酸化カルシウム(第190号) 第57条の2(通知対象物質) 結晶質シリカ(第165の2号) 酸化アルミニウム(第189号) 酸化カルシウム(第190号)
化審法:	該当しない
化管法:	第1種指定化学物質 カルボスルファン(管理番号: 206) 3.0% 第2種指定化学物質 該当しない
水質汚濁防止法:	指定物質

16. その他の情報

本SDSは日産化学工業株式会社作成「ガゼット粒剤」安全データシート(SDS) (改訂日:2023年1月26日)をもとに作成しています。

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)
※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話	(大阪)	072-727-2499(情報料無料)
		365日24時間対応
	(つくば)	029-852-9999(情報料無料)
		365日24時間対応
中毒110番 医療機関専用有料電話	(大阪)	072-726-9923(1件2000円)
		365日24時間対応
	(つくば)	029-851-9999(1件2000円)
		365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152

SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206



製品名: 石原ガゼット粒剤 (カルボスルファン粒剤)

SDS No. A-1109

安全データシート

作成日 2007年11月8日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2024年4月17日⑧

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。